

「選ばれる森林土木」に向けて

～【令和5年度】森林土木工事の積算等の改善～

【令和5年度から新たに実施する取組】

- 林道工事の掘削工について、施工実態にあった掘削土量が小さい歩掛を追加・・・（参考1）
- 治山工事の掘削工について、施工の難易度に応じた歩掛を設定・・・（参考1）
- 工事提出書類の各種様式の簡素化・・・（参考2）
- 総合評価落札方式の入札参加資格の見直し・・・（参考2）
- 治山工事で「山林砂防工」を適切に適用するため労務単価の算出方法等を周知・・・（参考3）
- 工事の発注者支援業務の対象を拡大
（監督業務に積算技術業務と発注支援業務を追加）

【令和4年度までの主な取組】

- 奥地の工事現場へのアクセスで作業時間が短くなる場合に労務費を補正
（現場事務所等から施工現場の補正を追加）
- 現場実態に合うよう「見積り」の活用を促進
- 工事の一般管理費率の見直し
- ICT活用工事の試行を推進

【継続する取組】

- 各種会議等で改善事項の普及啓発を徹底
（「選ばれる森林土木」キャラバンの実施）
- 現場条件を適切に反映するため設計・積算手引書を作成
- 厳しい現場条件を反映した工事の諸経費率を検討
- 森林土木分野「i-Construction」の推進
（各地における課題・優良事例の把握・発信等）

現場実態にあった
歩掛を設定

林道工事の掘削工について、 施工実態にあった掘削土量が小さい歩掛を追加

【標準的な林道工事の場合】
(開設延長750m、掘削工約4500㎡、水路工及び仮設工等を含む)

令和4年度	直接工事費	間接工事費等	本工事費(税込)	—	備考
	2,489万円	1,914万円	4,844万円	—	使用重機 0.8バックホウ

令和5年度	直接工事費	間接工事費等	本工事費(税込)	アップする額	備考
	2,628万円	2,060万円	5,157万円	313万円 (6.5%増)	使用重機 0.45バックホウ



地山掘削の施工土量		使用重機 (バックホウ)
100㎡程度まで等		追加
林道工事で5,000㎡未満		山積0.45㎡ (平積0.35㎡)
10,000㎡未満	旋回範囲に 制限あり	山積0.45㎡ (平積0.35㎡)
	上記以外	山積0.80㎡ (平積0.60㎡)
10,000㎡以上 50,000㎡未満	旋回範囲に 制限あり	山積0.45㎡ (平積0.35㎡)
	上記以外	山積0.80㎡ (平積0.60㎡)
50,000㎡以上		—

治山工事の掘削工について、 施工の難易度に応じた歩掛を設定

【標準的な治山工事の場合】

令和4年度	治山ダム工の掘削 1000㎡の試算額	—	備考
	385,000円	—	使用重機 0.8バックホウ

令和5年度	治山ダム工の掘削 1000㎡の試算額	アップする額	備考
	442,000円	57,000円 (14.8%増)	使用重機 0.8バックホウ



※難易度の区分を2区分⇒3区分に改正

受発注者間の
事務負担を軽減

工事提出書類の各種様式の簡素化

【受注者の工事提出書類の簡素化に取り組み事務負担の軽減を図る】

現行様式	
様式第1号	入札書
様式第2号	見積書
様式第3号	見積書
様式第4号	請負代金額内訳書の提出について
様式第5号	工事工程表の提出について
様式第6号	着工通知書
様式第7号	現場代理人及び主任技術者等通知書
様式第8号	経歴書
様式第9号	工期延長願
様式第10号	損害の発生通知書
様式第11号	完成通知書
様式第12号	部分検査願
様式第13号	中間前金払認定額
様式第14号	〇〇の提出について
様式第15号	指示、承諾、協議、確認、検査、立会 報告書・願書
様式第16号	(指示・承諾)通知書
様式第17号	施工計画書
様式第18号	現場組織表
様式第19号	指定機械
様式第20号	仮設備計画図
様式第21号	緊急時の連絡体制
様式第22号	施工体制台帳
様式第23号	工事事務報告書
様式第24号	コンクリートポンプ施工計画書
様式第25号	施工管理担当者通知書
様式第26号	工事日報
様式第27号	コンクリート打設(計画表・進行図)
様式第28号	出来形図
様式第29号	出来形集計表
様式第30号	コンクリートのスランプ・空気量試験表
様式第31号	コンクリートの圧縮強度試験表
様式第32号	X-R(スランプ・空気量)管理図
様式第33号	X-Rs-Rm(圧縮強度)管理図
様式第34号	ゆとりの検討表
様式第35号	粗骨材のふるい分け試験表
様式第36号	細骨材のふるい分け試験表
様式第37号	骨材の微粒分量試験
様式第38号	細骨材の表面水率試験表(容積法)
様式第39号	細骨材の表面水率試験表(重量法)
様式第40号	現場配合修正表
様式第41号	コンクリート配合試練り修正表

新たな様式	
様式-1	現場代理人等通知書、経歴書、現場代理人等変更通知書
様式-2	請負代金内訳書
様式-3	工程表、変更工程表
様式-4	建設業退職金共済制度の掛金収納書
様式-5	工事打合せ簿(指示、協議、承諾、提出、報告、通知、立会、確認)
様式-6	段階確認書
様式-7	工事事務報告書
様式-8	工事履行報告書
様式-9	工期延長届
様式-10	支給材料請求書
様式-11	支給材料受領書
様式-12	支給材料返還書
様式-13	現場発生品調査
様式-14	中間前金払認定願、工事出来高内訳書、検査済材料費計算書
様式-15	請負工事既済部分検査請求書
様式-16	指定部分完成通知書
様式-17	完成通知書
様式-18	指定部分引渡書
様式-19	引渡書
様式-20	修補完了届
様式-21	部分使用承諾書
様式-22	請求書(完成代金、指定部分払、部分払、前払金、中間前払金)
様式-23	出来形管理図表
様式-24	品質管理図表

現行様式

様式数 41

4割削減

新たな様式

様式数 24

発注者が定める工事提出書類の様式を41から24に削減し、定められた様式がない工事書類は任意様式とすることで事務負担の軽減を図る。



総合評価落札方式の参加資格等の見直し

【入札参加資格を見直すことで入札参加者の増加を図る】

主任技術者等に森林土木工事と同種の実績がないと入札に参加できない。

主任技術者等に、森林土木工事の実績がなくても入札に参加することを可能とし、受注意欲の向上を図る。

(ただし総合評価の加点なし)

現場状況にあった
労務単価の活用
を促進中

治山工事で「山林砂防工」を適切に適用 するため労務単価の算出方法等を周知

「山林砂防工」は治山工事（主として山間遠かく地の急傾斜地または狭隘な谷間における作業）に従事する場合に適用される労務単価
相当程度の技能を有し、主に人力による崩壊地の法切、土砂の掘削や構造物の築造等をおこなう作業を対象

【単価例（静岡県の場合）】

【普通作業員】
23,200円

【山林砂防工】
30,100円



「山林砂防工」の労務単価については、かつて全都道府県で適用されていたところ
近年、その単価が活用されていない県が見受けられる



林野庁では
「山林砂防工」の労務単価を治山工事で適用するよう周知し、「山林砂防工」の単価の活用を促進中



● 「山林砂防工」の労務単価が設定されていない県に、単価の算出方法を周知

【算出式】
R5の山林砂防工労務単価＝
直近に掲載されていた山林砂防工労務単価×
主要12職種の比率（R5平均単価/直近平均単価）

今年度から新たに
算出方法を追加